教 育 研 究 評 議 会 議 事 録

平成26年11月12日（水）
15時38分から16時45分まで
事務局第１会議室

議事

Ⅰ　教育研究評議会議事録（10月８日開催）の確認

Ⅱ　協議事項

１　教員組織一元化に伴う関係規則の整備について

２　平成27年度に実施する教職大学院の認証評価の申請について

Ⅲ　報告事項

１　年俸制適用職員給与規程（案）に係る各学部からの意見等について

２　クロス・アポイントメント制度に関する規程（案）に係る各学部からの意見等について

３　国立大学法人山形大学職務発明規程等の一部改正について

４　国立大学協会通常総会について（平成26年11月７日開催）

５　大学改革戦略本部会議について

６　アドバイザリーボード会議について（平成26年10月３日開催）

７　国立大学法人山形大学の平成25年度に係る業務の実績に関する評価結果について

８　山形大学バーチャル研究所の認定について

９　論文剽窃チェックツールの導入について

10　平成27年度山形大学推薦入試・社会人入試・ＡＯ入試等の志願状況について

Ⅳ　その他

１　次回開催（平成26年12月10日（水））

出席者

議　長　　小山清人　（学　長）

評議員　　深尾　彰　　安田弘法　　大場好弘　　阿部宏慈　　萩原　均　（理　事）

北川忠明　　元木幸一　（人文学部）

須賀一好　　佐々木正彦（地域教育文化学部）

玉手英利　　鵜浦　啓　（理学部）

藤井順逸 代理 佐藤慎哉 代理（医学部）

飯塚　博　　森　秀晴　（工学部）

西澤　隆　　夏賀元康　（農学部）

久保田功　（附属病院長）

渡邊洋一　（基盤教育院長）

監　事　　斎藤亮一　　山下　貴

欠席者　　山下英俊　　上野義之　（医学部）

列席者　　総務部長　　企画部長　　財務部長　　施設部長　　教育・学生支援部長

ＥＭ部長　　小白川ｷｬﾝﾊﾟｽ事務部長　　医学部事務部長

工学部事務部長　医学部事務部副部長　　総務課長　　人事課長

労務課長　　財務課長　　施設企画課長　人文学部事務長　理学部事務長

農学部事務長　　監査室長

Ⅰ　教育研究評議会議事録（10月８日開催）の確認

平成26年10月８日(水)開催の教育研究評議会議事録が確認された。

Ⅱ　協議事項

１　教員組織一元化に伴う関係規則の整備について

萩原評議員から、本件については、前回本会議において、本学の教員組織を一元化する方向で改革を進めることが了承されたことに伴う関係規則の整備（案）であり、今回については、その骨格となる部分の規則の一部改正等を審議願うものである旨説明があり、当該整備（案）に関して、資料１に基づき委細説明があった。

次いで、本件に関して概ね次のような質疑応答があった。

・山形大学学術研究院規程（案）第７条に定める教育課程編成に関して、教育研究組織の長が学術研究院長に教育課程編成案を提出することとなる「当該年度の学年開始前の学術研究院が定める日」とはいつまでか、そして、これは毎年やるものなのか。（玉手評議員）

・当該年度の開始前、つまり前年度中ということである。（萩原評議員）
・授業科目及び担当教員の決定等、日程的には従来行っているものと同様のイメージである。（大場評議員）

・第７条の教育課程編成に関して、学術研究院長となる学長の責任において行っていくということだと思うが、同条第２項において、「学術研究院長は、提出のあった教育課程編成案について総合的に調整する。」とあるが、学内のすべての授業科目を総合的に調整するという意味か。（北川評議員）

・基本的にはそういうことである。ただし、毎年行っていくことなので、順次行っていけば、大幅な変更が生じる場合を除き、そう調整を行う必要はなくなっていくものなのかと思っている。（萩原評議員）

・「総合的に調整する。」とは、授業科目を調整のうえ決定し、決定後その授業を誰が担当するかというところまで決めるということか。（北川評議員）

・具体的には、当該授業科目の主担当及び副担当を決める過程において、例えば、人文学部長から、こういう人員を配置して欲しいということがあれば、それが主担当なのか、副担当となるのかを調整するイメージである。当面は（現行と）そんなには変わらないイメージである。（学長）

・教育課程編成案という点において、イメージが沸きにくい。大学設置審議会に諮るような細かいコース編成、教員の編成等というものなのか。（渡邊評議員）

・現在、学生便覧にあるカリキュラムのようなものをイメージしている。（学長）

・それを毎年行っていくということか。それとも、例えば中期計画として３年単位でとか。（渡邊評議員）

・毎年作成していくことになる。（学長）

・シラバスを作成するのは前年度１月であり、それ以前に授業内容を決定し、さらには非常勤講師等を決定するということを半年前の秋頃に検討している現状がある。（渡邊評議員）

・その点等に関しては、具体的に進める段階において、相談しながら進めることとしたい。（学長）

・前回本会議でも申し上げたとおり教員組織の一元化に関しては、（大学を取り巻く厳しい現状を考慮すれば）仕方がないことで反対するものではない。ただし、現在、各学部がそれぞれの戦略のもとで努力して計画的に使用している教

員管理ポイントに関しては、当該一元化により不公平感が生じることのないように是非留意していただきたい。（西澤評議員）

・山形大学学術研究院規程（案）第７条の教育課程編成に関して、実際には、ここに規定する総合的な調整とは、下部組織を設けて調整（案）を検討するようなイメージか。学部側と学術研究院長等とのディスカッションを行う場というものはあるのか（玉手評議員）

・下部組織というよりも学部長間で調整するようなイメージであり、その機に応じて調整を行いたいと考えている。（学長）

・そもそも山形大学学術研究院というのは教員組織なのか。（飯塚評議員）

・教員を置いておく（教員が所属する）教員組織である。（学長）

・何故そこで教育課程の編成まで行うのか。（飯塚評議員）

・教育プログラム、例えば各学部で学科を変えるとか、授業科目を減らすとか、増やすとか、そういう際に教員をどう配置するかということもある。
（学長）

・教員を充てるというのはわかる。学術研究院では、どういう授業科目が必要かというようなことは行わないのか（飯塚評議員）

・その点は、各学部長の方から、来年度はこのような授業科目でやりたいとか、２，３年後はこういう授業を行いたいとか、そういう提案の中での話し合いになっていくようなイメージである。（学長）

以上の質疑応答後、議長から、本件について提案があり、審議の結果、原案どおり了承された。

２　平成27年度に実施する教職大学院の認証評価の申請について

深尾評議員から、本学の教職大学院である教育実践研究科に関しては、前回の認証評価（平成23年度）を受けてから５年後となる平成28年度までに認証評価を受審することとなっているが、同研究科長からの申し出があり、期限を１年前倒しした平成27年度に同評価を受審することで申請を行いたい旨資料２に基づき説明があった。

次いで、議長から、本件について提案があり、審議の結果、原案どおり了承さ

れた。

Ⅲ　報告事項

1　年俸制適用職員給与規程（案）に係る各学部からの意見等について

阿部評議員から、前回本会議にて本規程（案）を説明し、各部局に持ち帰り意見等の照会を行っていた本件について、各部局からの意見等に対して資料３のとおり回答を取りまとめた旨報告があった。

次いで、同評議員から、本件に関する意見等を求めたが特に意見等がなく、本規程（案）を来る12月１日（月）開催の経営協議会に諮ることが了承された。

2　クロス・アポイントメント制度に関する規程（案）に係る各学部からの意見等について

阿部評議員から、前回本会議にて本規程（案）を説明し、各部局に持ち帰り意見等の照会を行っていた本件について、各部局からの意見等に対して資料４のとおり回答を取りまとめた旨報告があった。

次いで、同評議員から、本件に関する意見を求めたが特に意見等がなく、本規程（案）を来る12月１日（月）開催の経営協議会に諮ることが了承された。

3　国立大学法人山形大学職務発明規程等の一部改正について

大場評議員から、本件については、去る５月14日（水）開催の本会議で了承を得た後、職員組合との交渉を踏まえ、資料12－１及び資料12－２のとおり一部修正が生じた旨報告があった。

4　国立大学協会通常総会について（平成26年11月７日開催）

学長から、去る11月７日（金）に開催された本件について、９月から不在となっていた会長には東北大学の里見総長が選出された旨、及び同協会で採択した決議及び各種要望等に関して、資料５に基づき報告があった。

5　大学改革戦略本部会議について

学長から、現在、本学で検討を行っている機能強化に向けた大学改革（案）に関する文部科学省との意見交換の状況に関して、資料６－２に基づき報告があった。

次いで、萩原評議員から、現在、国の財政制度等審議会において検討されている国立大学法人に対する運営費交付金の配分方式の改革（案）等に関して、資料６－１に基づき報告があった。

6　アドバイザリーボード会議について（平成26年10月３日開催）

安田評議員から、去る10月３日（金）に開催した本件について、同会議で説明した本学の学士課程教育の充実と国際化に向けた取組状況に対して、同会議委員

長から資料７のとおり助言及び提言があった旨報告の後、来年３月31日で時限到来となる本会議については、さらに設置期間を３年間延長することを確認した。

7　国立大学法人山形大学の平成25年度に係る業務の実績に関する評価結果について
　深尾評議員から、去る11月５日付けで国立大学法人評価委員会から通知のあった本件について、本学の評価内容及び全国の国立大学法人の評価の状況、並びに各大学の機能強化に向けた取組状況等に関して、資料８及び参考資料１－１から参考資料１－６に基づき報告があった。

8　山形大学バーチャル研究所の認定について
　深尾評議員から、本件について、今回YU-COE推進本部会議において、資料９のとおり新たに２件の認定を行った旨報告があった。

9　論文剽窃チェックツールの導入について
　深尾評議員から、既に11月１日から博士学位論文等の剽窃をチェックするオンラインツールを導入している旨、また併せて、11月中に本チェックツールの操作に関する学内説明会を開催する予定である旨資料10に基づき報告があった。

10　平成27年度山形大学推薦入試・社会人入試・ＡＯ入試等の志願状況について
　大場評議員から、去る11月６日（木）で願書受付を締め切った本件について、それぞれの入試の志願状況に関して、資料11に基づき報告があった。

Ⅳ　その他

1　清明寮での学生の自殺について
　学長から、先月に清明寮で発生した本件について、当該事故報告の後、同様の事故の連鎖反応には十分に注意していく必要があり、各部局において、学生対応等十分に留意願いたい旨依頼があった。

2　平成27年度山形大学一般入試学生募集要項の公表について
　大場評議員から、本件について、例年10月下旬に公表を行っていたものであるが、今回、文部科学省との交渉に時間を要しており、公表時期が11月下旬となる予定である旨状況説明があった。

3　高校への出前講義等について
　鵜浦評議員から、現在、各高校からの依頼や申込みがあり行っている本件について、期日が差し迫った申込みへの対応や本講義等の有料化の有無に関して、今後、担当部署において検討願いたい旨申し入れがあった。

4　山形大学の大学改革に対する意見について

玉手評議員から、本件について、以下のとおり意見があった。

・先月、全国国立大学理学部長会議が開催されて、他大学の学部長と第３期中期目標・中期計画の策定の進捗状況や大学改革等について意見交換する機会があったが、他大学では既に第３期中期目標・中期計画の学部プランの作成に取りかかっていると聞いており一方で本学では、大学全体の素案すら出来てない状況である。

・本学では、５月に国立大学法人山形大学の機能強化等に関するタスクフォースや大学改革戦略本部会議を設置して検討を進めているが、今現在、大学改革の基本プランすら出来てない状況である。これはやり方がまずいとしか言いようがない。資料６－２の中にある本学の改革プラン（案）の作成においても、文部科学省との打合せ直前に関係者が集まって徹夜同然で作業するといった状況は、本部の不手際だと思う。

・既に切羽詰まった状況となっている中で、これから１ヶ月余りでやっていくためには、相当な工夫が必要であり、これまでの半年間の何が悪かったのかという振り返りがなければ全然改善されるものではない。

・これは本部の責任として是非やっていただきたい。学部としては、できる限りの協力はやっていく。

上記の意見を受けて、学長から、意見のあった内容を十分に踏まえ、本学の大学改革を進めていくこととしたい旨付言があった。

６　次回開催について

次回は、平成26年12月10日（水）に開催することとなった。

配付資料

資料１　教員組織一元化に伴う関係規則の整備について

資料２　平成27年度に実施する教職大学院等の認証評価の申請手続きについて(照会)

資料３　「国立大学法人山形大学年俸制適用職員給与規程（案)」に係る各学部の意見等について

資料４　「国立大学法人山形大学クロス・アポイントメント制度に関する規程（案)」に係る各学部の意見等について

資料５　一般社団法人国立大学協会平成26年度第２回通常総会議事次第

資料6-1　改革加速期間中に各大学の改革の取組への配分及びその影響を受ける国立大学法人運営費交付金の額を３～４割に（国立大学改革プラン抜粋）

資料6-2　平成28年度予算要求関連相談メモ
資料７　山形大学における学士課程教育の充実と国際化にむけて（報告）
資料８　平成25年度に係る業務の実績に関する評価の結果について（通知）
参考資料1-1　全国国立大学法人の評価結果の分布
参考資料1-2　機能強化に向けた取組状況一覧
参考資料1-3　国立大学法人・大学共同利用機関法人の改革推進状況【平成25年度】
参考資料1-4　国立大学法人等の平成25年度評価結果について
参考資料1-5　国立大学法人・大学共同利用機関法人の平成25年度に係る業務の実績に関する評価の概要
参考資料1-6　平成25年度に係る業務の実績に関する評価結果等について
資料９　山形大学バーチャル研究所認定一覧
資料10　論文剽窃チェックツールの導入について（通知）
資料11　平成27年度山形大学推薦入試・社会人入試・ＡＯ入試の志願状況
資料12-1　国立大学法人山形大学職務発明規程の一部改正について
資料12-2　国立大学法人山形大学職務発明における出願補償金及び登録補償金の額並びに実施補償金に関する細則の一部改正について